

第 173 回日本知能情報フエジィ学会定例理事会議事録

日時：2010 年 11 月 20 日 13 時～18 時

場所：明治大学お茶の水キャンパス 研究棟 4F 第 6 会議室

参加者：高木，荒井，市村，渡邊，高間，三好，延原

1. 市村氏の紹介

タスクフォース プロモーション委員 として市村匠（県立広島大学）を選任した。

2. 第 172 回議事録確認

資料 BM_173_0 に基づき第 172 回議事録の確認が行われ承認された。

3. 支部研究部会に関わる定款・規定の改廃について

渡邊事業担当理事より，資料 BM_173_2 に基づき，支部研究部会に関わる定款・規定の改廃について説明がなされた。組織を表す名称を「研究グループ」とすることになり，支部規定および研究部会規定を廃止，研究グループ規定の新設について説明がなされた。新設される研究グループの活動および収支報告について，収支が発生する場合は報告義務があり，発生しない場合には報告義務がない，と明記することとなった。定款および規定についての修正案を，渡邊事業担当理事が作成し，それを臨時総会まで理事全員で確認することとなった。

4. 2010 年度拡大事業委員会の経費負担について

渡邊事業担当理事より，FSS2010 における拡大事業委員会開催に伴う昼食代の理事会負担について説明がなされ，承認された。

5. 論文のオンラインジャーナル化について

高間編集担当理事より，資料 BM_173_4 に基づき，論文誌オンライン検討状況について説明がなされ，積極的に論文誌をオンライン化する方向で承認された。投稿時の会員区分について議論がなされ，ひきつづき議論が継続されることとなった。

6. マルチコア化に関するアクションプランについて

延原庶務担当理事より，資料 BM_173_6 に基づき，マルチコア化に関するアクションプランについて説明がなされた。

コア表明およびプロモーションについて，各理事よりアイデアが出され，延原理事が時系列および優先度に基づきとりまとめることとなった。

人的強化については，メーリングリストにおいて境界領域に存在するスカウト候補を募集し，適宜，実施することとなった。

隙間を狙ったテーマ設定および重点領域については、国プロ対象および産業界対象の 2 つに区分し、国プロ対象については延原理事の提案に基づきすすめ、産業界対象については、ウェブインテリジェンス関連のキーマンを FSS のイベント等に積極的に誘致し、マッチングの機会を設定する方向で議論が継続されることとなった。

7. 臨時総会について

全員で、資料 BM_173_3 に基づき、臨時総会における配布資料内容について検討した。

8. 会誌編集業務の事務局委託内容の変更について

高間理事より、資料 BM_173_7 に基づき、会誌編集業務の事務局委託内容の変更について説明がなされ、承認された。詳細な金額変動等については、高間理事と事務局の間で交渉が行われることとなった。ひきつづき、報告事項として投稿審査システムが JST2 から JST3 に変更されることとなり、2011 年夏頃より移行が始まることが報告された。

9. 安全工学シンポジウムの共催について

渡邊事業担当理事より、資料 BM_173_8 に基づき、安全工学シンポジウムからの共催について説明がなされ、共催に関しては断ることとなった。

10. 選挙管理委員会設置について

荒井副会長より、第 12 期日本知能情報ファジィ学会選挙管理委員会設置及び構成人員について報告がなされた。選挙に関する詳細なスケジュールについても報告がなされた。

11. 第 6 回ファジィ学問塾開催報告

渡邊事業担当理事より、第 6 回ファジィ学問塾開催について報告がなされ、開塾以来最多人数の 44 名参加となり、盛況であった旨が報告された。